



家庭学習の手引き

千葉市立宮崎小学校

学校では、基礎的・基本的な知識・技能の習得に重点を置いて学習を進めています。基礎学力を定着させるには、繰り返し学習することが大切です。そのためには、毎日の家庭学習を習慣づけることで学習習慣を確立し、学習内容の定着を図り、学力向上につなげていくことが必要です。

そこで、よりよい家庭学習の習慣化に向けて「家庭学習の手引き」を作成しました。手引きを参考にお子様の学力向上にお役立てください。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆◆家庭での学習を習慣化しよう!◆◆

学力アップは、規則正しい生活から

- 早寝・早起き・朝ご飯
- 朝の排便
- 時間割を見て、自分で学習用具をそろえる
- 家に帰ったら、早めに学習に取り組む
- 学習を始める時刻を自分で決めよう
- テレビやゲームは時間を決めて!

学力の大切なポイント

- 勉強するときは、テレビを消す
- よい姿勢、正しい鉛筆の持ち方で学習する
- 机の上をきれいに片付けてからする
- 時間の目安は、ノートのページ数ではなく、10分間×学年です

- ◆家庭学習は毎日継続することに意味があります。お子さんの意欲ややる気、自主的な取り組みを認め、励ましましょう。
- ◆自分で取り組む内容を決めて、自分から進んで行う学習なので、続けることで、進んで行動できる力がつきます。
- ◆「やる必要があること」を考えて取り組めば、苦手なことも少しずつできるようになります。

1,2年生 10分～20分

- ☆やり遂げられるように、声をかけ励ましましょう。
- ☆学習中は、できるだけ、そばで見守ってあげましょう。
- ☆お子さんの学習に目を通し、ほめてあげましょう。
「がんばったね」「自分でできたね」

3,4年生 30分～40分

- ☆学習する前に、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやり遂げられるように励ましましょう。
- ☆お子さんがたずねてきたら、できる範囲でこたえましょう。
- ☆お子さんの学習に目を通し、ほめてあげましょう。
「がんばったね」「自分でできたね」

5,6年生 50分～60分

- ☆自尊心をはぐくむために、「やればできる」と励ましましょう。
- ☆宿題以外の学習計画を立てるなど、自分の家庭学習に見通しを持たせ、見守ってあげましょう。
- ☆お子さんの学習に目を通し、アドバイスし、ほめてあげましょう。

各学年での取り組み例

【全学年】

○**読書**に取り組む。

読書は心の栄養といわれます。いろいろな分野の本に親しむことによって、興味や関心が広がります。学校の図書室だけでなく、地域の図書館を利用しましょう。

○国語など教科書の**音読**（大きな声で 正しく はっきりと）。

【1年生】

○えんぴつを正しく持てるようにする。

○ひらがな、カタカナが読めて書けるようにする。

○1年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○繰り上がり、繰り下がりのある、たし算・ひき算ができるようにする。



【2年生】

○えんぴつを正しく持ち、姿勢よく文字を書く。

○カタカナが読めて、書けるようにする。

○2年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○2年生の算数(九九、ひき算、長さ、時計)が確実にできるようにする。

【3年生】

○3年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○3年生の計算練習(かけ算、わり算、小数、分数)に取り組む。

○ローマ字の読み、書きの練習(コンピュータでのローマ字入力にも挑戦)

○国語辞典を使って、言葉の意味を調べられるようにする。

○リコーダーをタンギングに気を付けて、なめらかにふけるようにする。



【4年生】

○4年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○4年生の計算練習(小数のかけ算・わり算、分数のたし算・ひき算)が確実にできるようにする。

○47都道府県の名前や位置を覚える。

【5年生】

○5年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○5年生の計算練習(小数のかけ算・わり算、分数のたし算・ひき算)が確実にできるようにする。

○新聞やテレビのニュース番組、インターネットなどから情報を集める。

○アルファベットの読み、書きができるようにする。



【6年生】

○6年生で習う漢字の読み、書きができるようにする。

○6年生の算数(分数のかけ算・わり算、比、比例・反比例、速さ)が確実にできるようにする。

○日本の歴史について復習し、知識の定着を図る。

【ポプラ】生活に根ざした力をつけましょう。

○基本的な生活習慣を身に付ける(着替え、食事、排せつ)。

○忘れ物がないように、準備ができる(宿題、持ち物)。

○家庭の仕事(手伝い)ができるようにする。

